

事業所名

ミライスクール深町校

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	『地域社会への接続と貢献』 子どもへの療育活動をととして、地域の学校や近所などの地域社会とつながることが、子ども自身が自分の未来を創造できる土壌となることを信じ、子どもの成長と地域の発展に寄与します。		
支援方針	1. スモールステップで進めます。      2. 客観的に視点を持ちます。 3. 指導員同士の連携を大切にします。      4. 子どもの主体性を大切にします。		
営業時間	10時	0分から	18時0分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	スケジュールは一人一人に合わせた内容になっています。来所後、連絡袋を提出し、検温し、自分の荷物をロッカーに入れます。その後、トイレや手洗い・うがいをし、自分のスケジュールを確認します。療育開始前や帰り前の片付けの声かけは直接、具体的に声をかけたり、間接的に声をかけてお子さん自ら時計を確認するよう促したり、お子さん一人一人の特性や発達段階に応じてサポートの仕方を変えています。	
	運動・感覚	微細運動：アイロンビーズや製作に必要な材料を提供し、お子さん一人一人が自由時間を活用し、安心・安全に取り組めるようにルールを敷いた上で取り組んでもらっています。	
	認知・行動	個別療育：算数や国語などの教材を扱い、45分間の担当制による療育を提供してします。お子さんの課題や発達段階、特性に応じてプログラムをオーダーメイドで構成しています。また、聞く力や注意力を持続する力、ワーキングメモリーを養うためのプログラムも実施しています。 小集団療育：2～4名のグループを構成します。ボードゲームやカードゲームなどを使用し、状況を適切に理解できるようになるために、大人が状況解説したり、お子さんがどう理解したかを尋ねたりする関わりを取っています。大前提としてお子さんの気持ちや考えを汲み取ったり、共感したりしながらサポートしていきます。	
	言語 コミュニケーション	個別療育：算数や国語などの教材を扱い、45分間の担当制による療育を提供してします。お子さんの課題や発達段階、特性に応じてプログラムをオーダーメイドで構成しています。また、聞く力や注意力を持続する力、ワーキングメモリーを養うためのプログラムも実施しています。 小集団療育：2～4名のグループを構成します。ボードゲームやカードゲームなどを使用し、状況を適切に理解できるようになるために、大人が状況解説したり、お子さんがどう理解したかを尋ねたりする関わりを取っています。大前提としてお子さんの気持ちや考えを汲み取ったり、共感したりしながらサポートしていきます。	
	人間関係 社会性	個別療育：宿題や問題に取り組む際、分からないことを「分からないので教えてください」と言えない、または言いづらそうにしているお子さんには、さまざまなアプローチで自ら援助要求ができるようにサポートしています。お子さんの性格、特性、理解力の程度、そして、保護者からの聞き取りの中でそういった状態になった時期やきっかけ等があれば、その背景もアプローチを検討するうえで参考としています。お子さんが自分にとって援助要求をすることのメリットを感じられるかが大事になってきます。お子さんが「聞いて良かった」「聞くことって悪いものじゃないね」と体感し、そういった体験の積み重ねがその子にとっての経験に繋がると考えています。	
家族支援	適宜、直接的な面談やメール、電話などによる相談を実施。	移行支援	未実施
地域支援・地域連携	加算内の学校訪問および連携 学校との情報共有会の実施	職員の質の向上	内部、外部研修、新人研修 療育の質の向上をはじめ、ビジネスマナー、保護者さんへの対応など外部の方への対応方法
主な行事等	クリスマス会、親子参加型ボードゲーム交流会、夏祭りなど		